

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成24年3月分)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I -10
3. 調査結果の概要 .....	I -11

## II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9

## I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 24 年 3 月の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

### 埋立地周辺における調査

表-1 (1) 事後調査の概要 (平成 24 年 3 月)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	3月1日～31日	通年連続

### (2)水質

#### ①一般項目 (図-1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	3月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

#### ②埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺) (図-1(2)参照)

##### ②-1 放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	3月1日～31日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	3月8,13,21,27日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	3月8日	1回/月
全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数		—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査	—	4回/年 (5月、8月、11月、2月)

表-1 (2) 事後調査の概要 (平成 24 年 3 月)

②-1 放流水、内水及び護岸外周(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
<p>●健康項目等</p> <p>カドミウム</p> <p>全シアン</p> <p>鉛</p> <p>六価クロム</p> <p>砒素</p> <p>総水銀</p> <p>アルキル水銀</p> <p>PCB</p> <p>ジクロロメタン</p> <p>四塩化炭素</p> <p>1,2-ジクロロエタン</p> <p>1,1-ジクロロエチレン</p> <p>シス-1,2-ジクロロエチレン</p> <p>1,1,1-トリクロロエタン</p> <p>1,1,2-トリクロロエタン</p> <p>トリクロロエチレン</p> <p>テトラクロロエチレン</p> <p>1,3-ジクロロプロペン</p> <p>チウラム</p> <p>シマジン</p> <p>チオベンカルブ</p> <p>ベンゼン</p> <p>セレン</p> <p>フェノール類</p> <p>銅</p> <p>亜鉛</p> <p>溶解性鉄</p> <p>溶解性マンガン</p> <p>全クロム</p> <p>陰イオン界面活性剤</p> <p>有機燐</p> <p>ほう素</p> <p>ふっ素</p> <p>アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)</p> <p>1,4-ジオキサン</p>	<p>放流水 1点</p> <p>内水 1点</p> <p>(処理原水)</p> <p>護岸外周 3点×2層</p> <p>(護岸から30m)</p> <p>【19, 20, 21】</p> <p>上層:海面下1m</p> <p>下層:海底面上2m</p>	—	<p>4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p>
<p>ダイオキシン類</p>	<p>ダイオキシン類は上層のみ調査</p>		<p>放流水 4回/年</p> <p>(5月、8月、11月、2月)</p> <p>内水 2回/年</p> <p>(8月、2月)</p> <p>護岸外周 1回/年</p> <p>(8月)</p>

表-1 (3) 事後調査の概要 (平成24年3月)

②-2 処分場周辺

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13, 14, 15, 16, 17, 18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m  n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 1,4-ジオキサン		—	2回/年 (8月、2月)

表-1 (4) 事後調査の概要 (平成 24 年 3 月)

(3)底質

①一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(GOD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) 【2, 3, 4, 5】	—	2回/年 (8月、2月)

②廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(GOD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位 ●有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル パナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン	1点(表層土) 【15】	—	2回/年 (8月、2月)

表－1 (5) 事後調査の概要 (平成 24 年 3 月)

(4)騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回/年 (4月、10月)

(5)悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点(大阪南港野鳥園)	—	2回/年 (8月、9月)

(6)陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 【a、b、c、d】	—	4回/年 (5月、6月、8月、2月) (2年おきに実施)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質 二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	1週間×4回/年 (5月、8月、11月、2月)
騒音 道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (作業時間帯に実施) (5月、11月)
振動 道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 【No.2、3】 堺基地 : 2点 【No.1、2】 泉大津基地 : 2点 【No.A、B】	—	2回/年 (作業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量 廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 【No.1、2、4】 堺基地 : 4点 【No.1、2、3、4】 泉大津基地 : 3点 【No.A、B、C】	—	4回/年 (作業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭 臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 堺基地 : 2点(風上、風下) 【No.5、6】 泉大津基地 : 2点(風上、風下) 【No.D1、D2】	—	2回/年 (6月、8月)

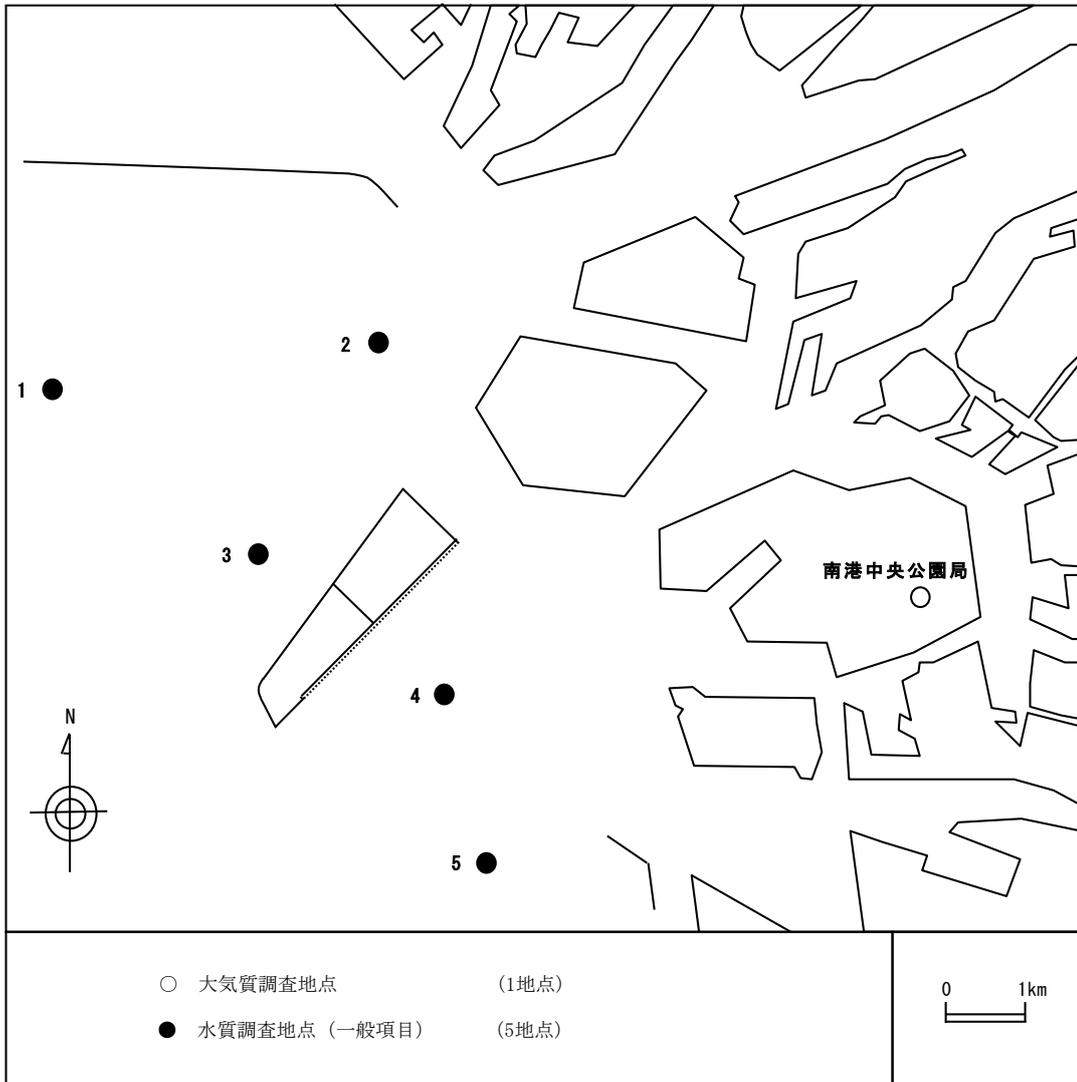


図-1(1) 大気質、水質(一般項目)の調査地点(平成24年3月)

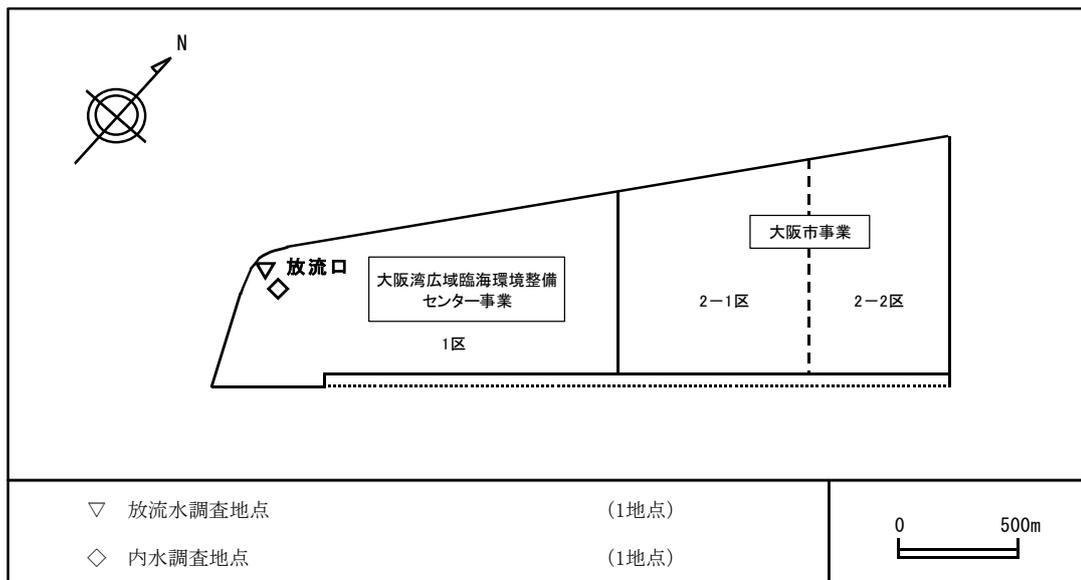


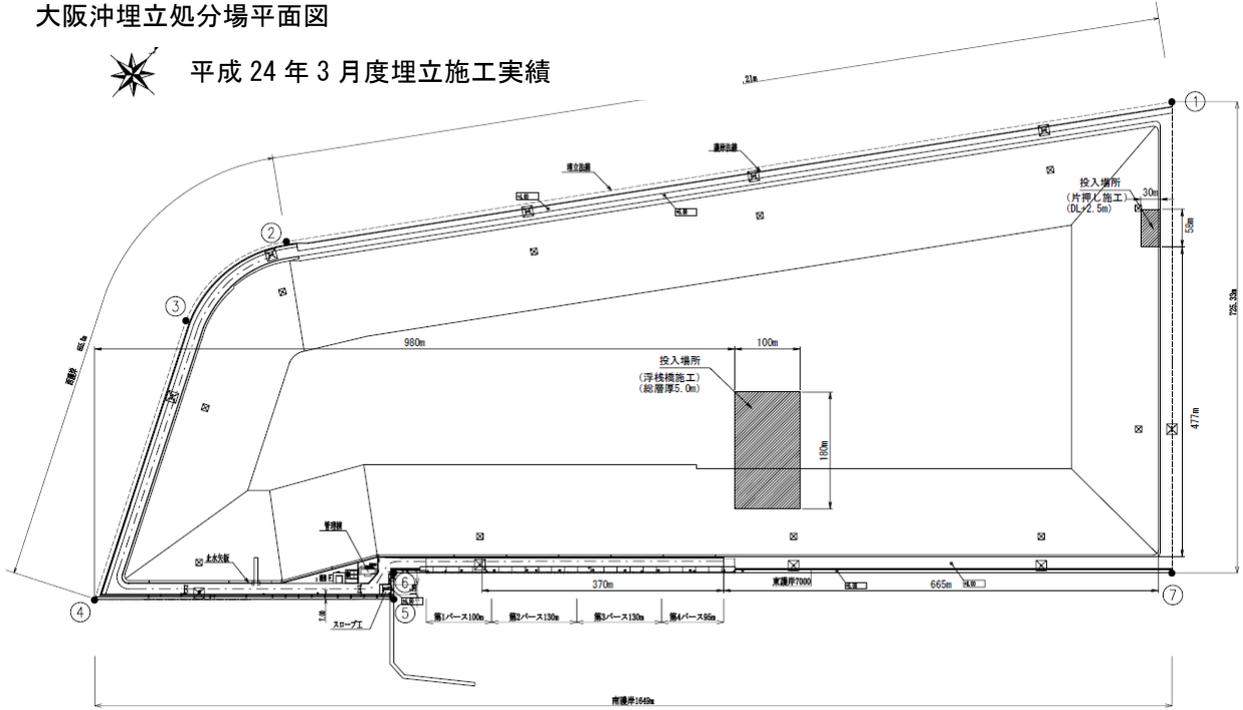
図-1(2) 水質(埋立中:放流水、内水)の調査地点(平成24年3月)

## 2. 工事の実施状況

平成 24 年 3 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖埋立処分場平面図

平成 24 年 3 月度埋立施工実績



埋立量(m <sup>3</sup> )	進捗率(%)
1,589,132	11.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (平成 24 年 3 月)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.006ppm であった。また、日平均値の最高値は0.012ppm、1時間値の最高値は0.058ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.028ppm であった。また、日平均値の最高値は0.053ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.024mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は0.041mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.064mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】  
水素イオン濃度 (pH) は上層で8.1～8.2、下層で8.0～8.1の範囲であり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】  
化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.6～3.7mg/L、下層で2.1～2.7mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1 及び 5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。  
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (3.1mg/L)、調査地点 5 (3.7mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は、上層 1.6～4.9mg/L であり、いずれもこの範囲であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。
- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】  
溶存酸素量 (DO) は上層で10～11mg/L、下層で8.8～9.4mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.29~0.82mg/L、下層で 0.09~0.18mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.82mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、0.46~2.1mg/L であり、この範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.046~0.082mg/L、下層で 0.022~0.032mg/L の範囲にあり上層では調査地点 1、2 及び 5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.066mg/L)、調査地点 2 (0.051mg/L)、調査地点 5 (0.082mg/L) であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は、0.021~0.15mg/L であり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 3~6 度(カリン)、下層で 1~3 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 3~5mg/L、下層で 2~4mg/L の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で 7~14  $\mu$ g/L、下層で 2~4  $\mu$ g/L の範囲であった。

## ②-1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第6～9号]

### 1) 放流水 (連続測定)

濁度は、0.4～2.3 度(カリン) (平均値 0.7 度(カリン)) の範囲であった。

水温は、8.2～10.6℃ (平均値 9.3℃) の範囲であった。

pH は、7.5～8.0 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、5.5～13.1mg/L (平均値 7.9mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、7.2～9.4mg/L (平均値 8.7mg/L) であった。

### 2) 放流水、内水

#### ・放流水

SS は、1.7～4.0mg/L (平均値 2.9mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、<1～2.0mg/L (平均値 1.5mg/L) の範囲であった。

pH は、7.7 であり、放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、14mg/L であり、放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

T-N は、6.8mg/L であり、放流水の基準値 (120mg/L、日間平均 60mg/L) 及び管理目標値 (30mg/L) を下回っていた。

#### ・内水

SS は、5.0～5.6mg/L (平均値 5.4mg/L) の範囲であった。

FSS は、2.8～3.1mg/L (平均値 3.0mg/L) の範囲であった。

pH は 8.6、COD は 15mg/L、T-N は 6.8mg/L であった。

### 3) 護岸外周

3 月は実施せず。

## ②-2 処分場周辺

3 月は実施せず。

(3) 底質

3月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

3月は実施せず。

(5) 悪臭

3月は実施せず。

(6) 陸域生態系（鳥類）

3月は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

3月は実施せず。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項 目	基 準 値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1 時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の 1 日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1 時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。  
公共用水域における環境基準(BOD又はCOD)の評価方法について（昭和52年環水管52号）
- (1) 環境基準の水域累計を指定する際の水質測定結果の評価方法について  
環境基準の水域累計をあてはめるための水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類計の基準値を満たしているデータ数の占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。  
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さい者から順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番号の値をとる。）
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点をもつ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 規制基準等

### (1) 水質

#### ①水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型 最終 処分場	水素イオン濃度（pH）	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量（COD）	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質量（SS）	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	窒素含有量（T-N）	120mg/L（日間平均60mg/L）以下	30mg/L 以下
	磷含有量（T-P）	16mg/L（日間平均 8mg/L）以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量（n-ヘキサン抽出物質）	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000個/cm <sup>3</sup> 以下	同左

- 注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋。  
 2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

## II 事後調查結果

大気質測定結果総括表〔平成24年3月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	4
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	735
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	735
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果[平成24年3月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.012	0.058
	2 (金)	0.005	0.010
	3 (土)	0.004	0.006
	4 (日)	0.003	0.004
	5 (月)	0.006	0.013
	6 (火)	0.007	0.013
	7 (水)	0.007	0.015
	8 (木)	0.007	0.014
	9 (金)	0.004	0.005
	10 (土)	0.004	0.006
別	11 (日)	0.005	0.008
	12 (月)	0.005	0.008
	13 (火)	0.004	0.007
	14 (水)	0.007	0.010
	15 (木)	0.007	0.011
	16 (金)	0.009	0.027
	17 (土)	0.005	0.011
	18 (日)	0.009	0.019
	19 (月)	0.004	0.007
	20 (火)	0.006	0.012
値	21 (水)	0.007	0.011
	22 (木)	0.012	0.027
	23 (金)	0.004	0.007
	24 (土)	0.006	0.009
	25 (日)	0.005	0.008
	26 (月)	0.006	0.009
	27 (火)	0.008	0.012
	28 (水)	0.009	0.024
	29 (木)	0.009	0.017
	30 (金)	0.007	0.012
	31 (土)	0.004	0.007
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		737	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.012	
1時間値の最高値 (ppm)		0.058	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果[平成24年3月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (木)	0.051	0.125
	2 (金)	0.036	0.125
	3 (土)	0.002	0.006
	4 (日)	0.001	0.002
	5 (月)	0.031	0.081
	6 (火)	0.033	0.078
	7 (水)	0.008	0.056
	8 (木)	0.011	0.033
	9 (金)	0.007	0.022
	10 (土)	0.002	0.013
別	11 (日)	0.001	0.003
	12 (月)	0.003	0.011
	13 (火)	0.002	0.008
	14 (水)	0.013	0.060
	15 (木)	0.007	0.019
	16 (金)	0.031	0.090
	17 (土)	0.029	0.072
	18 (日)	0.012	0.042
	19 (月)	0.004	0.009
	20 (火)	0.002	0.006
値	21 (水)	0.004	0.028
	22 (木)	0.031	0.127
	23 (金)	0.013	0.040
	24 (土)	0.001	0.005
	25 (日)	0.000	0.002
	26 (月)	0.004	0.021
	27 (火)	0.014	0.095
	28 (水)	0.012	0.101
	29 (木)	0.009	0.046
	30 (金)	0.021	0.086
	31 (土)	0.000	0.002
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		735	
月 平 均 値 (ppm)		0.013	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.051	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.127	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果[平成24年3月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日 平 均 値 (ppm)	1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
日	1 (木)	0.053	0.077
	2 (金)	0.037	0.053
	3 (土)	0.014	0.031
	4 (日)	0.014	0.021
	5 (月)	0.037	0.053
	6 (火)	0.033	0.046
	7 (水)	0.026	0.058
	8 (木)	0.031	0.053
	9 (金)	0.034	0.050
	10 (土)	0.016	0.036
別	11 (日)	0.010	0.018
	12 (月)	0.016	0.029
	13 (火)	0.017	0.032
	14 (水)	0.032	0.050
	15 (木)	0.027	0.054
	16 (金)	0.049	0.070
	17 (土)	0.047	0.061
	18 (日)	0.029	0.043
	19 (月)	0.019	0.032
	20 (火)	0.018	0.034
値	21 (水)	0.022	0.063
	22 (木)	0.047	0.068
	23 (金)	0.038	0.052
	24 (土)	0.015	0.033
	25 (日)	0.009	0.016
	26 (月)	0.021	0.041
	27 (火)	0.031	0.054
	28 (水)	0.032	0.060
	29 (木)	0.038	0.059
	30 (金)	0.030	0.062
	31 (土)	0.012	0.024
有 効 測 定 日 数 (日)		31	
測 定 時 間 (時間)		735	
月 平 均 値 (ppm)		0.028	
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.053	
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.077	
1 時 間 値 が 0.2ppm を 超 え た 時 間 数 (時間)		0	
1 時 間 値 が 0.1ppm 以 上 0.2ppm 以 下 の 時 間 数 (時間)		0	
日 平 均 値 が 0.06ppm を 超 え た 日 数 (日)		0	
日 平 均 値 が 0.04ppm 以 上 0.06ppm 以 下 の 日 数 (日)		4	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO+NO<sub>2</sub>)測定結果[平成24年3月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の 最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (木)	0.104	51.0	0.199
	2 (金)	0.072	51.4	0.175
	3 (土)	0.016	87.5	0.034
	4 (日)	0.015	93.3	0.023
	5 (月)	0.068	54.4	0.133
	6 (火)	0.065	50.8	0.114
	7 (水)	0.033	78.8	0.114
	8 (木)	0.042	73.8	0.085
	9 (金)	0.040	85.0	0.072
	10 (土)	0.019	84.2	0.049
別	11 (日)	0.010	100.0	0.020
	12 (月)	0.019	84.2	0.040
	13 (火)	0.019	89.5	0.038
	14 (水)	0.045	71.1	0.109
	15 (木)	0.034	79.4	0.070
	16 (金)	0.080	61.3	0.157
	17 (土)	0.076	61.8	0.125
	18 (日)	0.041	70.7	0.082
	19 (月)	0.023	82.6	0.037
	20 (火)	0.020	90.0	0.038
値	21 (水)	0.026	84.6	0.091
	22 (木)	0.078	60.3	0.187
	23 (金)	0.051	74.5	0.091
	24 (土)	0.016	93.8	0.038
	25 (日)	0.009	100.0	0.016
	26 (月)	0.025	84.0	0.060
	27 (火)	0.045	68.9	0.148
	28 (水)	0.044	72.7	0.161
	29 (木)	0.047	80.9	0.105
	30 (金)	0.051	58.8	0.146
	31 (土)	0.012	100.0	0.024
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		735		
月平均値 (ppm)		0.040		
日平均値の最高値 (ppm)		0.104		
1時間値の最高値 (ppm)		0.199		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		76.7		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\begin{aligned} & \text{日(月)平均値 NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) \\ &= (\text{NO 及び NO}_2 \text{ が同時測定されている時間の} \\ & \quad \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和}) / \\ & \quad (\text{NO 及び NO}_2 \text{ が同時測定されている時間の} \\ & \quad \text{NO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和}) \end{aligned}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果〔平成24年3月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の 最高値 (mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (木)	0.033	0.064
	2 (金)	0.024	0.054
	3 (土)	0.019	0.029
	4 (日)	0.019	0.034
	5 (月)	0.015	0.033
	6 (火)	0.024	0.041
	7 (水)	0.035	0.050
	8 (木)	0.036	0.048
	9 (金)	0.025	0.035
	10 (土)	0.017	0.035
別	11 (日)	0.019	0.042
	12 (月)	0.015	0.021
	13 (火)	0.015	0.025
	14 (水)	0.016	0.036
	15 (木)	0.026	0.053
	16 (金)	0.026	0.041
	17 (土)	0.027	0.044
	18 (日)	0.036	0.055
	19 (月)	0.012	0.023
	20 (火)	0.019	0.031
値	21 (水)	0.018	0.032
	22 (木)	0.034	0.051
	23 (金)	0.020	0.032
	24 (土)	0.021	0.041
	25 (日)	0.018	0.032
	26 (月)	0.021	0.031
	27 (火)	0.028	0.050
	28 (水)	0.041	0.061
	29 (木)	0.031	0.049
	30 (金)	0.029	0.050
	31 (土)	0.018	0.034
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		735	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.024	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.041	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.064	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成24年3月分]

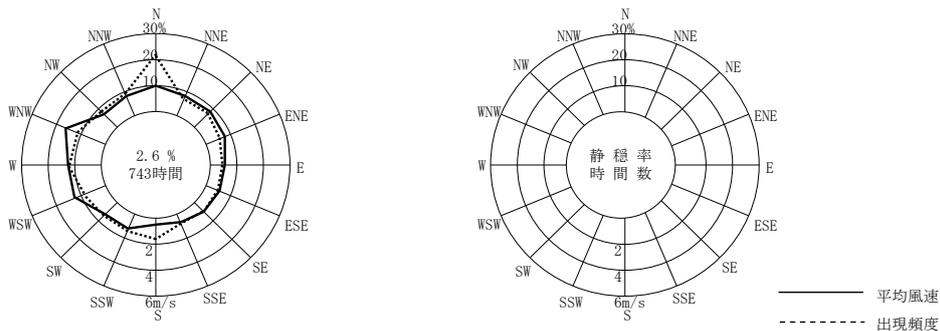
方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	70	43	17	17	16	17	7	6	38	52	64	51	72	36	56	162	19	743
頻度 (%)	9.4	5.8	2.3	2.3	2.2	2.3	0.9	0.8	5.1	7.0	8.6	6.9	9.7	4.8	7.5	21.8	2.6	—
平均風速(m/s)	1.7	1.8	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	1.7	1.6	1.6	1.9	2.5	2.2	1.8	1.9	2.3	0.2	—

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局：南港中央公園局

風向風速計高さ：14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成24年3月分]

水質調査結果（一般項目）

[平成24年3月分]

調査日：平成24年3月1日

調査点 項目		調査点					最小値 ~ 最大値	平均値
		1	2	3	4	5		
時刻		9:40	9:13	10:00	10:40	10:30	—	—
透明度	[m]	2.1	2.3	2.3	3.2	2.9	2.1 ~ 3.2	2.6
水温	[°C]	8.4	8.7	8.7	9.3	9.5	8.4 ~ 9.5	8.9
		8.8	9.0	8.9	9.0	9.0	8.8 ~ 9.0	8.9
塩分	[—]	22.0	22.5	27.9	28.1	27.1	22.0 ~ 28.1	25.5
		31.4	30.8	31.6	31.5	31.5	30.8 ~ 31.6	31.4
濁度	[度(カリン)]	6	3	5	3	4	3 ~ 6	4
		2	2	3	2	1	1 ~ 3	2
浮遊物質量 (SS)	[mg/L]	4	5	3	4	4	3 ~ 5	4
		3	4	3	4	2	2 ~ 4	3
水素イオン濃度 (pH)	[—]	8.2	8.1	8.2	8.1	8.1	8.1 ~ 8.2	—
		8.0	8.0	8.0	8.1	8.1	8.0 ~ 8.1	—
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]	3.1	2.8	2.7	2.6	3.7	2.6 ~ 3.7	3.0
		2.2	2.3	2.1	2.3	2.7	2.1 ~ 2.7	2.3
溶存酸素量 (DO)	濃度	11	11	11	10	10	10 ~ 11	11
	[mg/L]	9.3	8.8	9.2	9.3	9.4	8.8 ~ 9.4	9.2
	飽和度	108	109	113	104	104	104 ~ 113	108
	[%]	98	93	97	98	99	93 ~ 99	97
全窒素 (T-N)	[mg/L]	0.58	0.82	0.29	0.39	0.48	0.29 ~ 0.82	0.51
		0.16	0.18	0.12	0.09	0.11	0.09 ~ 0.18	0.13
全燐 (T-P)	[mg/L]	0.066	0.051	0.048	0.046	0.082	0.046 ~ 0.082	0.059
		0.031	0.032	0.027	0.022	0.025	0.022 ~ 0.032	0.027
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]	13	14	13	7	13	7 ~ 14	12
		4	4	2	2	4	2 ~ 4	3

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------

水質様式第6号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成 24年 3 月分]

□

項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カリン)]	0.4	～	2.3	0.7
水温	[°C]	8.2	～	10.6	9.3
pH	[—]	7.5	～	8.0	7.9
COD	[mg/L]	5.5	～	13.1	7.9
DO	[mg/L]	7.2	～	9.4	8.7
特記事項					

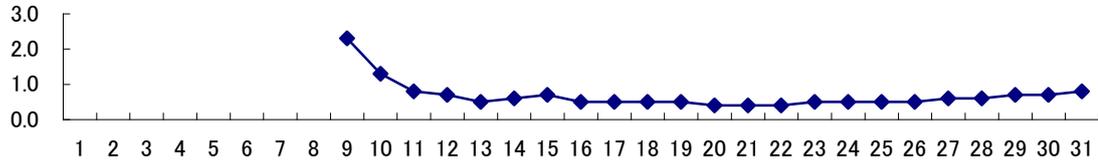
水質様式第7号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水（連続測定））

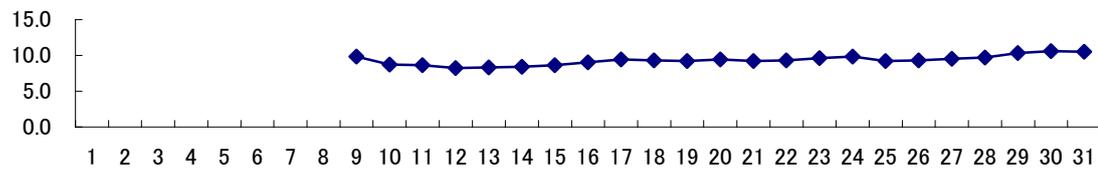
[平成24年3月分]



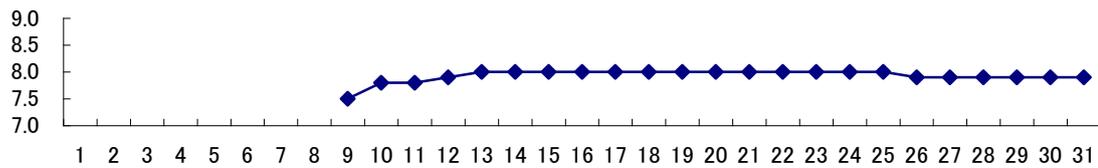
濁度[度(カリン)]



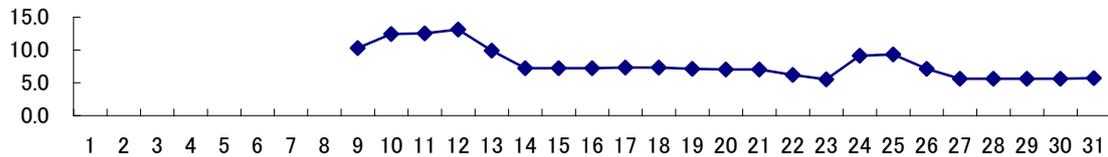
水温[°C]



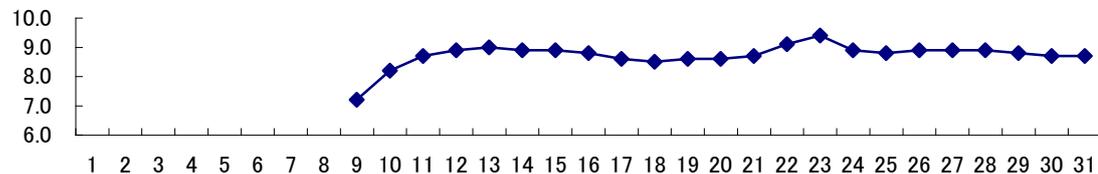
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD) [mg/L]



溶存酸素量(DO) [mg/L]



- ・ 2/27 7:45～ 油流入の恐れがある為、水処理施設停止及び放流停止
- ・ 発電機停止に伴い、全設備停止。
- ・ 3/2より発電機設備運転開始（有人時）
- ・ 3/8より水処理設備試運転開始
- ・ 3/9より3/19昼間（有人時）水処理運転（1時間に1回、台船周り、放流口を点検）
- ・ 3/13より昼夜水処理連続運転を開始
- ・ 3/19より9:00・13:00・15:00に台船周り、放流口を点検
- ※3/8～3/13まで発電機立上げ時、COD計不安定な為、COD値高

水質様式第8号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水①） [平成24年3月分]

□

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]	時刻	SS [mg/L]	FSS [mg/L]
	3/08 (木)	14:58	4.0	1.8	15:10	5.4
3/13 (火)	09:40	2.4	1.1	10:00	5.5	3.1
3/21 (水)	09:40	1.7	< 1	09:55	5.0	2.8
3/27 (火)	09:40	3.4	2.0	10:00	5.6	3.0
平均値	—	2.9	1.5	—	5.4	3.0
最小値	—	1.7	< 1	—	5.0	2.8
最大値	—	4.0	2.0	—	5.6	3.1

特記事項
------

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視—廃棄物処分場放流水、内水②） [平成24年3月分]

調査日：平成24年3月08日

区分 項目	放流水	内水
	時刻	14:58
pH[-]	7.7(19℃)	8.6(18℃)
COD[mg/L]	14	15
T-N[mg/L]	6.8	6.8

特記事項
------